

## 第6学年2組 国語科学習指導案

平成29年7月13日（木）2校時

1. 単元名 「町のよさを伝えるパンフレットを作ろう」  
ようこそ私たちの町へ（光村図書）

### 2. 単元の目標

- ・書く事柄を収集し、集めた事柄を整理して、よりよいパンフレットを作ろうとしている。  
【関心・意欲・態度】
- ・パンフレットという様式の特徴を理解し、表現の効果を考えて文章全体の構成や、目次や見出し、リード文、解説文などを工夫することができる。  
【書く能力】
- ・引用したり、写真や図を用いたりして、伝えたいことが明確になるように書くことができる。  
【書く能力】
- ・効果という観点から構成や表現を考えて書いている。 【言語についての知識・理解・技能】

### 3. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
構成や記述の仕方を考え、パンフレットを作ろうとしている。	①文章全体の効果を考えて構成するとともに、キャッチコピーを付けるなど、表現を工夫して書いている。 ②目的や意図に応じて、文章の内容を考えている。	効果という観点から構成や表現を考えて書いている。

### 4. 学習の基盤

#### (1) 教材観

本教材は、来年度修学旅行に行く5年生に向けて、修学旅行の楽しさやこれだけは伝えたいということを紹介するパンフレット作るものである。実際に行ってみて、体験したり、感じたりしているので、主体的に活動に取り組めると考える。また、学習指導要領に「目的や意図に応じた編集として、章立てや節などを工夫するとともに、題名や前書き、目次、あとがき、奥付などをつけ、実際の本や新聞、雑誌などの編集に合わせる大切である。」とあるが、実際のパンフレットを手にも、その形や特徴を捉えながら学習に取り組ませていくことができる。さらに、自分が必要な情報を自ら手に入れ、必要な情報を探して何度も繰り返し読むという学習活動が期待できる教材でもある。

#### (2) 指導観

本単元では、「修学旅行の楽しさを伝えるパンフレットを作ろう」という目標を設定し、見通しを持たせて授業を展開する。

第1次では、実際にパンフレットを手にとり、パンフレットの良さを見つける活動を通して学習意欲を高めさせたい。また、本物のパンフレットを提示することで、到達する目標を明確

にしたり、本物のパンフレットの構成を読み取ることで、取材する内容、書く内容を明確にしたりする。

第2次では、動機付けとして、来年度修学旅行に行く5年生に向けて紹介する活動を設定する。「何のために書くのか」という目的意識、「誰のために書くのか」という相手意識を持たせることで、相手に合わせた構成や記述を意識させるようにする。そのために、推敲の意味を広く捉え、構想の段階から推敲の目と場をもつことを大切にしていきたい。

本時は、自分の担当する記事で必要な情報を収集する時間である。児童は、図書館とパソコン室を行き来しながら、必要な情報を「簡易情報カード」に記入していく。本時では、小さくした情報カードを「簡易情報カード」として用いることとした。その理由の一つ目は、書くことに抵抗がある児童への支援である。情報カードを小さくすることで、書くことのハードルが下がり、意欲的に学習に向かうことができるのではないかと考える。二つ目は、手元での操作が簡単にできるからである。次時では、情報を整理しながら、割り付けを行う。情報カードが小さいことにより、手元で操作しながら、割り付けをすることができるので、ゴールのイメージを持つことができ、主体的な学習活動につながると考える。

第3次では、5年生にパンフレットを紹介して、表現が素敵などころ、分かりやすい工夫が見られたところ、楽しさが伝わるなどころ等に付箋を貼って、評価してもらおう。友だちとの相互評価、自分で振り返る自己評価、担任評価を取り入れ、評価方法も工夫したい。

また、全ての学習において、大切にしたいのは学習形態の工夫である。大人数の学級集団になると、発言をせずに1時間が終わる児童もいる。そこで、ねらいに合わせて、一人学習、ペア学習、グループ学習、全体学習の形態を取り入れる。意見や感想を交流し合い、自分の考えを的確に伝えたり、アドバイスをもらったりすることで、表現することのよさを感じられる場を確保していきたい。

#### 5. 単元の指導計画（全10時間 本時第4時間目）

次	時	単元の指導計画	主な支援	関	書	言	具体的な評価規準
第1次	1	・パンフレットの特徴を調べる。	・実際のパンフレットを見せ、どのような特徴があるかを考えさせる。	○			・パンフレットの特徴をつかんでいる。(発言・ノート)
	2	・学習計画を立てる。	・構想→取材→構成→記述→推敲→清書の流れを確認し、見通しを持たせる。	○			・学習計画を立てている。(発言・ノート)
第2次	3	・パンフレットの構想を練る。	・パンフレットを読む相手を想定して、何を伝えるかを考えさせる。		①		・相手や目的に合った題材を選び、パンフレットの構想を立てている。(ホワイトボード)

4 (本時) 5	・図書館、パソコン室でパンフレットに必要な情報を収集する。	・構成のときに、手元で操作しやすいように、情報を「簡易情報カード」に記入させる。		①		・自分の担当する項目に、必要な情報を収集している。 (簡易情報カード)
	・パンフレットにのせる材料を選び、構成を考える。	・情報を整理して、割り付けを考えさせ、完成したパンフレットをイメージさせる。		①		・集めた情報や材料を整理し、パンフレットに使いたいものを選んで、構成している。 (ワークシート)
	・パンフレットの表現の工夫を見つけ、工夫を使いながら下書きをする。	・パンフレットの特徴を振り返らせ、見やすい表現を意識させる。		②		・本物のパンフレットを参考にして、相手によく伝わる表現や語句を工夫した文章を書いている。(ワークシート)
	・下書きを推敲する。	・推敲のポイントを出し合ってから、グループごとに助言し合うようにする。		②		・推敲したり、友だちと助言い合ったりすることで、よりよい文章にしている。 (ノート)
	・自分の作品に生かしながら、清書をする。	・推敲の時の、友だちからのアドバイスを生かすよう支援する。		②	○	・助言を生かして、構成や表現を効果的に改善することができる。(パンフレット)
第3次 10	・5年生にパンフレットを読んでもらい、学習を振り返る。	・5年生には、評価を付箋に書き、パンフレットにはってもらうようにする。	○			・パンフレット作りの学びを自己評価している。(ノート)

## 6. 本時の学習指導

(1) ねらい 自分の担当するに項目に、必要な情報を収集している。【書く能力】

主な学習活動と予想される児童の姿	教師の支援 評価 (★)	
	T1	にこサポ
<p>1. 学習したことを想起する。</p> <p>2. 本時の課題を確認する。</p>	<p>・情報カードの見本を2つ掲示し、よい方の特徴を見つけさせ「<u>情報カード</u>」のルールを確認する。</p> <p>① 1枚1情報 ② 箇条書き ③ 文は短く！(引用・要約)</p> <p>・情報収集の手段を確認する。</p>	

	パンフレットにのせる材料を集めよう。		
3. パンフレットに必要な情報を集める。	<p>★自分の担当する項目に、必要な情報を収集している。【書く能力】 (簡易情報カード)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手が止まっている児童には、キーワードを一緒に考えたり、手段を助言したりする。</li> <li>・児童が思考しやすいように、修学旅行の写真や、しおりを準備する。</li> <li>・パソコンの使用台数は、各班に割り当てをしておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当児童の様子を見守りながら、必要に応じて助言をする。</li> </ul>	
4. 本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集について、単元計画カードで振り返りをさせる。(◎○△)</li> <li>・学習計画を確認させ、次時の見通しを持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りを確認する。</li> </ul>	

(3) 授業の視点 「簡易情報カード」を使ったことは、児童が情報を意欲的に集めるために有効であったか。

(4) 本時の評価

評価の観点	十分満足できると判断される児童の具体例	おおむね満足できると判断される児童の具体例	支援を必要とする児童への支援の手立て
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて、自分の担当する項目に必要な情報を収集し、友だちの情報収集に助言をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の担当する項目に、必要な情報を収集している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーワードを一緒に考える。</li> <li>・調べ学習の手段を、助言する。</li> </ul>